

## 文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」

### 2021年度 連携型共同研究 成果報告書

|       |   |
|-------|---|
| 研究課題名 | オンラインによる幼稚園児・小学生の漢字教材の提案                            |
| 研究代表者 | 出野 文莉（大阪教育大学 教育学部 准教授）                              |
| 共同研究者 | 出野 文莉（大阪教育大学大学 教育学部 准教授）<br>大岩本 幸次（大阪市立大学 文学研究科 教授） |

#### 研究成果

本研究の目的は、幼稚園や小学生の漢字教育を効率よく進めるための教材開発である。幼稚園児や小学校低学年の漢字教育をグレードアップすることは非常に重要である。漢字の習得は言葉や文章解読にあたって、論理的能力を高め、それらが他の教科の理解にも影響するからである。また、3歳から10歳くらいまでの年齢において、言葉や漢字を最も早く認識する能力が備わっていることが知られている。漢字を読むことが、聞く力になり、話す力を育て、ひいていろんな事についての理解能力を涵養するのである。

今年度の活動として、コロナ禍の影響を考慮に入れ、小学生向けの教員用の「漢字の成り立ち」の教材を開発することに力を注ぐことに集中した。前年度に小学校1年・2年の教材をすでに完成し印刷したので、今年度には小学3年生から6年生に至る1026文字の教材を完成することを目的とした。

教材の主な内容は各漢字について、甲骨文・金文・小篆を載せ、それらの漢字が最初に成り立った時の意味を理解することを基本としている。漢字には原義と派生義があり、派生義はすべて原義から派生しているので、原義を知っておけば、派生義の内容の理解が容易になる。この考え方は、漢字を体系的に覚える方法でもある。すなわち、ある漢字の原義さえ知っておけば、新たに出会う熟語について直感的な理解ができることが多いのである。

現在、学校教育において漢字教育は軽視の傾向にあり、漢字文化は危機的状況にあると言っても過言ではない。それは、次代を担う子どもの思考力・創造力・表現力を豊かにする力を奪っていると言える。漢字はその成り立ちと意味を理解し、さらにその文字体系を学んでいくと、極めて奥深いものがあり、いわば歴史・文化・精神を学ぶことにつながり、豊かな創造力と表現力を育んでくれる。

漢字は一字一字に先人の精神文化を宿している。漢字を学ぶということは単なる「記号」として学ぶということではなく、古代人の精神文化と歴史を学ぶということなのである。漢字の成り立ちを学ぶことは情操教育の一助となる。

上記を踏まえ、『おもしろ漢字』3年生～6年生の4冊を各100冊印刷した。今後はオンラインのデータベース教材を作成して漢字教育の実践的教材としたいと活用できるようにしたい。

内容として、甲骨文・金文・小篆を示し、イラスト付きで各々の漢字の成り立ちを説明した教材である。この教材を使用して実際に小学生に教え、どのくらい理解ができたかを実験授業で確かめたいと思う。それらの実験を通して知らないところを訂正し、効率よく小学生が漢字を覚える教え方を学んでいきたいと考えている。

現代はパソコンの時代であり、漢字は書くものではなくパソコンのキーを打って文章を作る時代である。認字という概念があって、これは漢字を書けなくても認識できるということである。例えば「鬱」という字を書ける人は少ないが、これは「憂鬱」の「鬱」といえば読んでわかる人は多くいる。パソコンでは、多くの人が「鬱」を使って文章を書くことは可能である。私は漢字を習い始める小学生に「漢字の成り立ち」教育と認字教育によって、効率よく漢字を短い期間で多く教えることができると考えている。現に、中国では認字教育によって大きな成果を得ている。

現在の『小学校学習指導要領』では、第1学年80字、第2学年160字、第3学年200字、第4学年200字、第5学年185字、第6学年181字、合計で1026の漢字を教える。北京師範大学出版社の教科書では、小学1年生の第1学期の認字が334字、写字が134字、查字が107字ある。また、第2学期は認字402字、写字220字、查字99字になっている。単純に足し算すると全部で1296字になるが、認字と写字は数多く重複しているため、実際に学ばなければならない文字は、認字736字・写字354字である。驚くべきことは、1年生が学ぶ認字が736字に及んでいることである。したがって日本で認字教育を小学校1年の段階から行えば、1年生で300字ぐらいの認字を児童に認識させることは十分に可能である。

私は「漢字の成り立ち」教育と認字教育を現在の小学校低学年児に行なうことで日本の子供たちに今よりもずっと多く、正確に漢字を認識してもらえると考えている。これから自身の研究として一步一歩進めていきたいと思う。

